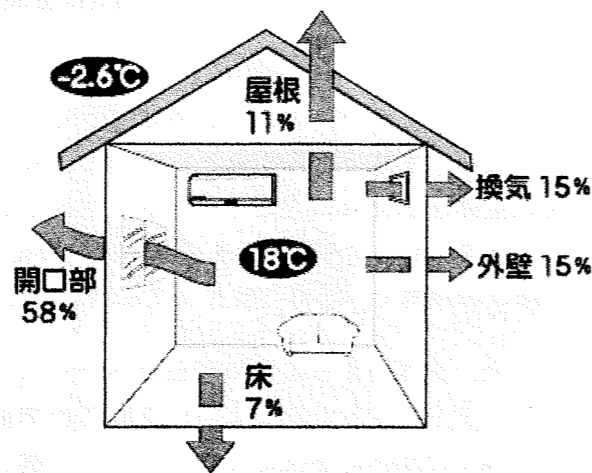


リレー記事 No.66

冬こそおうちを省エネ対応に

めっきり寒くなりました。家庭では、1年の中で、平均してもっともエネルギーを使う季節です。みなさんは、いかがお過ごしでしょうか。省エネだからといって身体の調子を崩さないよう、あったかい暮らしをしたいものです。そこで、有効な省エネ法を調べてみました。

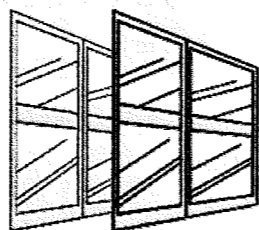
冬に室内から逃げ出す熱の58%は、窓からだそうです。家の熱の出入りは、窓が最大の弱点といえます。ですから窓の断熱対策をとることが省エネの有効手段となりそうです。



窓の断熱には

- ① 複層ガラス、または2重サッシが有効。
- ② サッシはアルミよりプラスチックサッシまたは、木製サッシが有効。

しかし、窓やサッシは、簡単に取り替えることはできません。そこで、それに代わるものとして、最近は簡単に取り付けられる、内窓も販売されています。これよりも手軽な梱包材（プチプチ）を窓に貼るのも、複層ガラス程度の断熱ができるそうです。見かけがあまりよくないという人も多いため、人目につきにくい窓で試してみるのもいいかもしれません。また、簡単ですぐにできることとして雨戸やシャッターの利用があります。ちょっとめんどろですが、夜になったら閉めてみませんか。



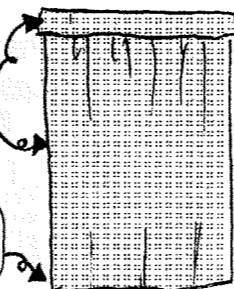
▲最近よく見かけるはめるだけの内窓

家の中の工夫として、カーテンの利用があります。

- ① カーテンボックスをつける。カーテンの端を壁につけて、隙間をなくす。
- ② 断熱カーテンやアルミ蒸着フィルムが入ったレースのカーテンをつける。

マジックテープで壁につける

すそは、長めに窓をすっぽり包む

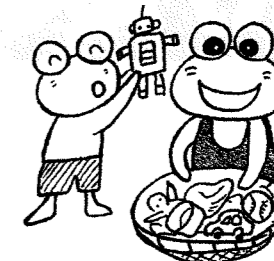


私は寒いのが苦手です。これからも、少しのエネルギーで部屋を暖かくする工夫をいろいろさがしてやってみたいと思います。

《ひら》

「メガかえっこバザール」やります

KaekkoShop



2012年、春、エコけん主催で“メガかえっこバザール～eこどもまつり～”を計画しています。メガかえっこバザールは、根強いリピーターがいるかえっこショップを中心に、様々な環境保全活動の団体に出展してもらい、参加者がスタンプラリーをして各団体のクイズや工作などを体験するものです。スタンプラリーをクリアすると、地球環境に負荷をかけない暮らしが自然と身につく仕掛けになっています。また、福岡県温暖化防止活動推進センターのゆるキャラマスクット、エコトンも来場します。

かえっこショップには、子どもにとって、たくさんの中から欲しいおもちゃを選べる魅力があります。また、その効果として、①おもちゃの循環に加えて、②運営に加わることで子どもの主体性が育ち、③限られたポイントでやりくりするという消費者としてのスキルが身につきます。エコけんで10年ものあいだ大事に育ててきたワークショップです。それが今回、他団体との連携で「メガ」サイズになるというわけです。

ただ今、メガかえっこプロジェクトチームで楽しく学べるイベントとなるよう、あれこれ準備中です。多くの団体に参加してもらうことが鍵となるので、現在、団体の方々に協力をお願いしているところです。古賀市、福津市、新宮町の自治体と教育委員会からも後援して頂くことになりました。



▲子どもたちが働きます

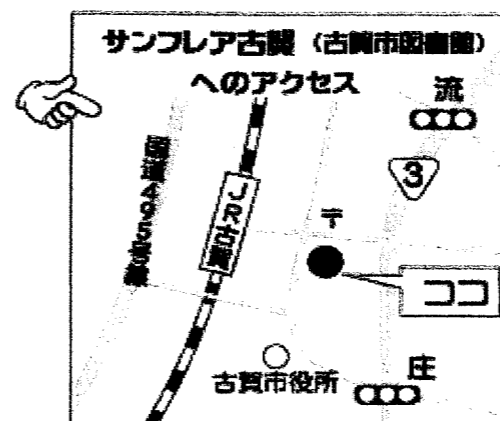
みなさんも、是非、お子さまやお孫ちゃんと遊びにいらしてください。子どもの心を持った大人の方も歓迎します。

メガかえっこバザール ～eこどもまつり～

【日時】 2012年3月18日(日) 13:00～16:00

【場所】 サンフレア古賀 2F 多目的ホール&視聴覚室

(JR古賀駅より徒歩5分)



*この企画は、昨年の“るんるん♪ごみ拾い”に続き、エフコープ環境助成金を受けて実施します。

*敷地内の運動場にも駐車できます。

《Ms. W》

11月16日(水)10:00~18:15 パピヨン24 (福岡市博多区)

【参加】NPO22団体、企業12社

去年に引き続き、福岡県ボランティアセンターの福岡協働ひろば「交流会」に展示出展しました。これは、NPO・ボランティアや企業等による日頃の社会貢献活動をPRするブース展示や発表、基調講演等を行う、年に一度の大規模な交流の場です。

エコけんのブースは入口の前にあり、後で聞いた話だと「とてもいい場所」とのことでした。「今後の活躍を期待されているNPO法人かも」と、前向きに受け取ることになりました。

来場者は、NPO出展者団体の関係者が多く、企業の方は少なかったようです。社会貢献活動を実施したり、応援することを企業の強みとするまで、機は熟していません。私たちが、「NPOを応援することが企業メリットになる」という構図を示せていない、まだそこまでの力がないというのが、本当のところでしょう。今後の活動の目標が絞れそうです。



▲いろいろな方に会いました

また、ステージでの活動発表は、抽選で5団体が選ばれたのですが、エコけんも発表をすることができました。5分間ですが「メガかえっこパズル」の協賛依頼までをきっちり詰め込みました。



▲感動的でした

活動発表の最後は、特定非営利活動法人ボディパーカッション協会の「聴覚障害あっても楽しめるボディパーカッション」でした。手や体を叩き、足を踏みならして音楽を作ります。小学生が舞台上で披露してくれました。「パンパン、ドンドン」と振動が響き、不思議な高揚感が得られます。法人代表の先生が「ボディパーカッションは、ケチャダンスのイメージ」と説明されました。みんなで、体験もしました。4つのグループに分かれ、グループごとにそれぞれ違うリズムを決めて、手をたたきます。輪唱のように、グループごとに順番に加わり、また退き、拍手は、うねりのようなリズムを奏でます。最後は、みんなで一斉にばんざいをし、飛び上がり「わっ！」で締めました。おなかに

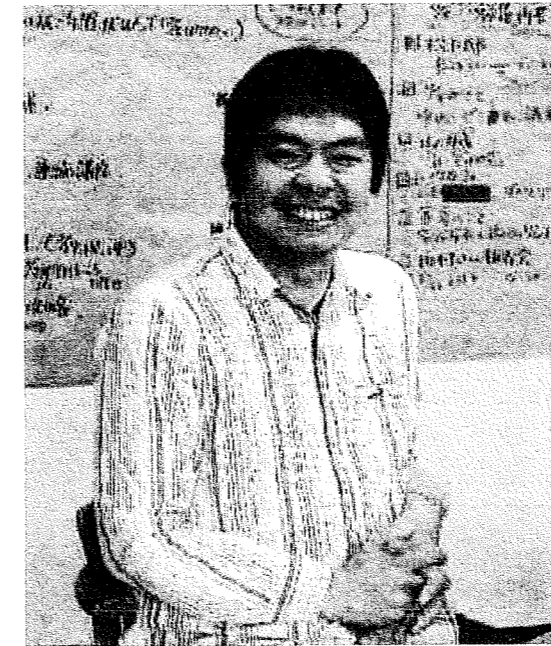
響くようなリズムと一体感で、とても気持ちのいいものでした。このやり方は、使えそうです。

このような「場」への参加は、めんどくさく、おっくうになったりします。でも、普段会うことがない人たちとの交流は、刺激的で参考になり、行く甲斐があります。加えて、なかなか自己PRができていないエコけんとしては、存在感を示すためにも、できるかぎり参加していきたいと思いました。

《ひら》

「NPO法人地域交流センター」理事の山口さんにお話を伺ってきました。『地域交流センター・津屋崎ランチ』は、山口さんをはじめ全国から集まった6人の若者がスタッフとなり、実際に津屋崎の町に暮らしながら、新しいまちづくりを実現するプロジェクトチームです。

民家を借りた『津屋崎ランチ』の事務所には、地元の人達の他にも、この活動を知った全国からの来客があり、2階を宿泊に利用することもあるそうです。また、様々な企画には、大学生や若者の参加も多く、将来地元での暮らしを考えている若者達は、心をゆさぶられ興奮気味に帰っていくそうです。来年度は、古民家を改装した場で、学びの塾もスタートされるということで、ますます山口さんたちの活動から目が離せません。



Q. 未来のために、今何が重要だとお考えですか

難しいと言わないことだ。出来ると言ってみよう!

Q. 未来を創るための決意

一人で出来ないから一人でもやる

この山口さんの決意は、「一人では、出来ない」ということは「みんなでやらなくてはならないこと」。誰かがやらないと絶対に動かないのだから、「一人でもやる」という人がいることが起点となり、その思いから少しづつ広がっていくという意味だそうです。

電気を使わない「非電化もみ攪り機」を見せていただいたり、「非電化冷蔵庫」の話など楽しく聞かせていただきました。山口さんは、「私達は便利な生活を手に入れたことで、工夫すること、人と会話すること、喜びを分かち合うことといった、大切なことを失っていつているのではないか。」と、話されました。スピードを落とした暮らしを大切にしたいそうです。地域のみなさんがやってみたいことの「僕たちは背中押し係ですよ」と、笑顔で言われた山口さんの言葉が心に残っています。

人と人をつなぎ、『場』をつくる。なんだか私達とも通じるものを感じました。

《N.N》



次回のエコけん1%クラブ

1月 9日(金) 15:00~16:00 エコロの森近隣 ごみ拾い



思いを形に

特定非営利活動法人 エコけん